TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

オーストラリア港湾　サイバー攻撃による操業停止

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2023 年 11 月 17 日）

各種ニュース報道のとおり、11 月 10 日(金) 港湾運営会社の DP ワールドがサイバー攻撃を受け、オーストラリアの 4 つの主要港における同社の操業が停止しました。既に部分的に操業再開しておりますが、本号では同港を介する物流への影響についてご連絡いたします。

1. オーストラリア主要港の操業停止

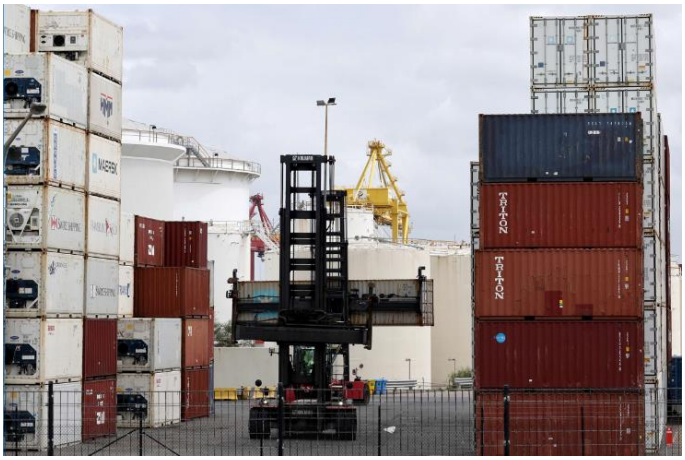
11 月 10 日(金)にＤＰワールドがサイバー攻撃を受け、オーストラリア東部メルボルン・シドニー・ブリスベン、西部のフリーマントルの４港において、同社の操業が停止しました。11 月 13 日(月)9:00 には一部業務を再開していますが、完全復旧には至っていない模様です。

ＤＰワールドはオーストラリアの海上貨物の 40%近くを扱っており、約 30,000 個のコンテナがＤＰワールドのコンテナターミナルへの出入りで滞留している状況です。

2. システム障害とストライキによる物流への影響

11 月 10 日(金)にDPワールドのシステムがハッキングされましたが、その原因については現在も国とともに確認中です。操業停止期間も船舶からの積み下ろしを一部継続しており、13 日(月)より事業継続計画の下、暫定的に操業を再開し、翌週には稼働再開できる見通しとしております。

一方、同日オーストラリア海事連合（Maritime Union of Australia）は、上記 4 つのターミナルでの労働争議を来週いっぱい継続すると通知しており、滞留解消までの見通しはやや不透明で、混乱はしばらく続く恐れがあります。



11 月 13 日　部分的に再開した港の様子(AFP/アフロ)

なお、新型コロナウイルス蔓延時に代替手段がないことで物流に大きな影響を受けた教訓から、オーストラリアの各企業はブラックフライデー・サイバーマンデー、クリスマス商戦に向けての発注を通常より早めの 8 月頃に実施、おおむね 10 月には納品されていたため、最悪の事態は防げたようです。

3. 港湾に対するサイバー攻撃

世界各地で港湾運営会社へのサイバー攻撃は続いております。今年 7 月には、日本最大級の港湾である名古屋港がランサムウェア攻撃の被害に遭い、コンテナの搬出が停止されたほか、船舶への積み下ろしにも影響が出ました。また、今年 6 月上旬には、オランダのロッテルダム港やアムステルダム港、フローニンゲン港でもサイバー攻撃によるシステム障害が報告されています。

※最新の情報は、各種報道等をご確認下さい。

◇◆◇◆◇◆